

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取西高等学校

重点項目	グローバル人材育成	提出日	令和4年4月21日
------	-----------	-----	-----------

1 学校目標	
「深い学び」「幅広い学び」による高い進路目標の実現 ～新たな社会を牽引する人材の育成～	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> ○多様な学びの研究と実践 ○生徒の知的総合力を高めるための指導力向上 ○生徒の資質・能力を引き出すキャリア教育の研究と実践 ○グローバルな視野と行動力をもつ人材の育成 <数値目標> ○海外研修・留学等に参加した生徒数 35 名 ○公益性の高い国内外における大会参加者数 200 名 	<ul style="list-style-type: none"> ○「課題研究」や海外研修オンラインプログラムや海外の大学・高校との交流・連携によって生徒の論理的・協同的・探究的思考力、コミュニケーション能力が高まった。 ○各種大会、科学オリンピック等に幅広く参加し、世界大会出場など優秀な成績を収めた。活動の成果発表（英語等）により、多くの生徒が刺激を受け意欲の向上が見られた。 <数値結果> ○海外研修（オンラインプログラム）・留学等に参加した生徒数 27 名 ○公益性の高い国内外における大会参加者数 278 名
3 実施事業	
<p>【高等学校課事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育充実事業キャリア塾「ようこそ高校へ」 社会や企業の第一線講師から、実際の企業の在り方、その中で生きることの意義や様々な経験から得られた知見などを学び、視野を広げ将来の生き方を考えることができた。 講師：熊埜御堂 朋子（日本放送協会編成局長） <p>【独自事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鳥取県版生徒グローバルE S D研修プログラム 生徒が岡山大学惑星物質研究所、日野たたら遺跡、荒金鉱山、美敷水源地などの施設等を訪問し、地域の自然環境や文化を維持・育成する視点から地域の財産について学び、多面的・多角的な視点で相互に学び合う活動をすることで、システム思考、協働性、未来志向、戦略的思考といった持続可能性コンピテンシーを身につけるとともに、グローバルリーダーとしての資質・能力を養うことができた。 	
4 総合所見（成果・評価）	
<ul style="list-style-type: none"> ・海外派遣事業など、予定していた多くの事業が中止またはオンライン実施となったが、研修場所を海外から近隣に変更するなど、実施可能な形態で事業を実施するなどした結果、E S DやSDG s等の視点による探究的な学びにより、生徒のグローバルな視点によるローカルな活動に挑戦する意欲が向上するなどの効大きな果が得られた。令和4年度も同様な状況下での活動が予測されるが、様々な工夫を凝らし、事業が行えるように努めたい。 ・SGH事業の取組を継承し、生徒の知的活動を支援する体制を整えて計画を立てたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの研究会などが中止となり思うような活動ができなかった。しかしながら、全 	

国的な研究大会に参加する生徒数は減少せず、公益性の高い各種研究会・学会や大会に参加した生徒は278名を数えた。また大会で大変優秀な成績を収める生徒が増加し、41人の生徒が上位入賞を果たした。当初の目標は達成できたと考える。

- ・海外研修には参加できなかったが、ハワイとオンラインでつないだプログラムを実施。29人参加。

※枚数任意